

連盟ニュース

309

神奈川 10

2010.10.12

『尾瀬の夜明け』(群馬県・尾瀬ヶ原にて) 撮影：トリコシアキオ(<http://tory.com/>)

《巻頭言》登山・ハイキングの意味 運動と現実の矛盾	連盟会長 中山建生	2
お願いします 山で死なないてください	日本勤労者山岳連盟遭難対策部	3
「岩場でのセルフレスキュー」講習会のお知らせ11/3	救助隊	4
会山行紹介 みずなら山の会「読図山行・戸沢BBQ」		5
第15回全国登山者自然保護集会のご案内11/27-28	6p/ 第12回全国海外登山集会のご案内11/27	3
西城州の紅葉を楽しむ群馬県民ハイク2010 in 南牧村のご案内11/7		10
10.3丹沢クリーンハイク報告(不動尻コース) 県連・川崎ハイキングクラブ	大用	7
赤岳(ハケ岳)テント泊山行報告(ハイキングリーダー学校実技)10/2-3	横浜HC 内田和夫	7
関東ブロック役員交流集會に参加して9/25-26	県連事務局部員 西川憲男	8
ガスコンロの取り扱い、転倒、火傷、燃料漏れ 16p/ 平和であってこそその実現できる登山	中山建生	9
第32期上期(前)2010年度・定期理事会議事録		12
規約を改正した理由「啓蒙」から「啓発」へ 10p/ 規約改正の提案と民主主義について		14
9月自然保護委員会報告9/27 11p/ 10月常任理事会報告10/4 11p/ 9月事務局長会議報告9/14		15
神奈川県勤労者山岳連盟各会の活動報告と予定 17p/ 登山時報紹介		19
全国会議行事予定 20p/ 県連のスケジュール		20



神奈川県勤労者山岳連盟

〒221-0822 横浜市神奈川区西神奈川1-18-2 永田ビル3階

TEL/FAX 045-434-2726 <http://www.k-rouzan.net/>

発行責任者 後藤 真一

振込先 郵便局 世界貿易センター内局 #00290-9-15228

他金融機関からは 029店 当座0015228

登山・ハイキングの意味 運動と現実の矛盾

2010.9.15 中山 建生

9月事務局長会議で登山の定義、ハイキングの定義とはどう違うのかと質問がありました。

みなさんはこれになんと応えるのでしょうか。先の臨時理事会では規約規定の改正案に「登山」とあったものを「登山・ハイキング」と書き替えることになりました。今、この「登山・ハイキング」を並記する意味はどこにあるのでしょうか。全国レベルでも何回かこの定義について論議を交わしましたが、明確な答えが出せないまま「登山」と「登山・ハイキング」の両方が使われています。私もハイキングを志向する人達には登山とハイキングは違うという気持があり、気軽に山登りをしたいという意思表示があると感じています。健康目的や心身の解放など、従来の登山の価値に新しいものが加わっています。具体的に見るなら、温泉ハイク、草花鑑賞ハイク、山岳写真撮影、複数の家族と山登りなど様々な名称がこれを示しています。これらの活動を総称してハイキングと言っているのでしょうか。こうした時代の変化と要求の多様化はハイキングという用語のなかに閉じこめることも無理があるように思います。山に登ることが目的ではなく、手段として見たほうが正しいからです。今はこの問題に深く立ち入りませんが、ハイキングを志向する人達の活動は多種多様であることが分かります。日本ではハイキングという言葉は1980年以降定着しました。神奈川でのハイキングの会の規約や考え方は「ハイキングは冬山と岩登りを除いたもの」として、既存の山岳会と区別しました。この定義では雪山や沢登りはどちらに入るのか、常に議論になります。力のある人たちは雪が降っても北アルプスのような厳しさがなければハイキング会の活動に馴染むと考えています。北海道の友人はここでそんなことを言えば6月から10月しか山に行けないと言いました。彼らは雪に親しみ、自らの経験や力量に即した活動を組み入れています。理屈で言えば雪山はハイキングの世界ではないし、沢も岩場があるためハイキングとは言えないとして山岳会とのすみわけのなかで問題を解決

する人たちもいます。労山の人たちは次の問題にも遭遇します。遭難対策特別基金の定義では2000m以下の山で、5時間以内の歩行範囲にあるものをハイキングとしています。この5時間は休憩時間を含みません。休憩時間を含めると実際には7時間から10時間の範囲となるでしょう。しかし、北アルプスは標高でハイキングとは言えなくなります。これは登山とハイキングの違いを保険の給付にからませているためです。一般の保険は登撃と特殊な用具(ロープやアイゼン、ピッケル等)を使用する場合にはハイキングではないと区別します。加入する保険の範囲を明確にするためです。ヨーロッパのガイドや登山家はアルパインの世界を氷と壁(登撃)と言います。それ以外の登山活動をアウトドア活動と呼びあるいはトレッキングと呼んだりします。しかし、アルピニストとハイカーの違いを明確に区別します。ここには伝統を意識して、自然環境の違いが学習と訓練を明確にしています。自分の目標や行為をあいまいにせずプロ＝専門家としての自覚の違いを感じます。いくつか定義があることは分かりましたが、あなたはどうか考えますか。ちなみにhikeは徒歩旅行と訳されています。alpine-clubでは登山クラブとなります。一般にはmountainleeringが登山をするという意味で使われます。愛知の洞井君はこれを使っています。alpineには高山という意味もあります。この問題は会の活動と実際がマッチしているのか。会員教育や山行管理が適切に行なわれているのかにつながり、会としてはあいまいにできない問題です。ハイキング委員会としてもテキストの見直しや教育のレベル、内容の統一などたくさんの課題を抱えています。9月以降、これらに取り組みしてみようと考えます。取り組みの経過は皆さんにお知らせします。

- 続く -

2010年10月 救助隊

「岩場でのセルフレスキュー」 講習会のお知らせ

2010年度の「岩場でのセルフレスキュー」講習会を下記の要領で開催いたします。

日程 : 2010年11月3日(雨天中止)

場所 : 鷹取山(横須賀市)

募集対象 : ・ 神奈川労山 救助隊員
・ 同 加盟各会の会員(岩トレ経験者に限る)
・ 同 リーダー・学校生(初級・中級)

講習内容

1) 初心者

- ・ ロープ結び各種
- ・ 懸垂下降中の仮固定
- ・ ビレイヤーの自己脱出までを習得することを目指す。

2) 初 級

- ・ ビレイヤーの自己脱出～ロープの登り返し
- ・ 1/3システムでの負傷者の引き上げ。
- ・ 負傷者の引き降ろし
- ・ 負傷者を介助してのラッペル、背負ってのラッペルなど

3) 中 級(応用技術編)

中級者以上を対象に技術研究会として実施します。

- ・ カウンターユマール
- ・ カウンターラッペルなどリードクライマーの
- ・ 救助を想定した内容が中心です。

募集締め切り 2010年10月24日

参加希望者は各会の救助隊員、または県連救助隊事務局までお申し込みください。
問い合わせ先も同上です。

救助隊事務局 : 宮澤 haru3miy@orchid.plala.or.jp

救助隊員以外の参加者は連絡用、緊急時用に別途申込書が必要です。申込書は救助隊事務局から各会の救助隊員および県連関係のメーリングリストに流す予定です。
雨天中止の場合: 前日午後6時発表の天気予報の降水確率が50%以上の場合は中止です。



会山行紹介

『みずなら山の会』

読図山行(源次郎尾根下り)

山行部企画の読図山行が10月2日実施された。この俺がリーダーだってよ！何が出来るか不安だ！豚もおだてりゃ木に登るって、このことだあな。指名されて、うっかり・しっかり受けてしまった。まずは準備が必要だ！早速下見を兼ねて1ヶ月も前に歩いてみた。なるほど県立L学校で間違えたポイントは、ココだと解った。そのままの勢いで行くと尾根を右に取り源次郎沢に降りてしまう。ここは間違えても仕方ないようなところだな？しばらく立ち止まって見入ってしまった。そこで、さりげなく赤テープを巻いてきた。これで準備完了だ！後日mori3からシッカリついてたよって指摘。なんだ、行ってんのかよ。俺わざわざ行ったのにな！

例によって山行募集をかけた。するとなんだかな～全員参加するのかってな勢いで参加者がワンサカ集まってしまった。そしたら、会長から読図山行終了後バーベキュー(BBQ)やって翌日クリーンハイクに参加しよう。この企画にまたマタ参加者が殺して20名を超えるか？

だけど、結果的には皆さんのお仕事などの関係で、読図9名BBQ12名参加だった。みんな忙しいんだな！俺なんか暇ぶっこいていんのに(^^)

当日の天気は曇り気味で上々の出来だ！名物のヒルもない！さあ地図・コンパスをもって出発！その前に磁北線引いてない人いる？って聞いた。さすが「みずなら」全員引いてある。もし引いてない人が居たら現場での磁北線の引き方をご披露しようかと思っただけ、出番無し。また机上講習時にでもやるっか！

戸沢から花立山荘まではワイワイがやがや相変わらずのニギヤカさで到着。早速今年の忘年会の予約をしてきた。とりあえずだから、詳細は後日連絡でな！

さあ、こっから本番！みんな気を引き締めて行こう！いちばん締めなきゃいけないのは俺か？まず3名の新入会員にコースリーダーをお願いした。大倉尾根からの入り口でまごつく？よ～く地図と高度計

と磁石を見てな！もうチョット登って右に尾根があるだろう？こっから入るのかな？どうやらこうやらクリアー。鹿道を進んで行く。通称、上の草原まで何度も読図ポイントをアドバイスしながら現在地・進むべき方向を3名であだこうだ話し合い

進んでいった。さあ、ここでまた地図を見てみよう。尾根を外さないように左に進路をとるんだあな？そ～か！よし。

おかげさまで、事故も無く楽しく読図山行を完了することが出来ました。地図の読み方・コンパスの使用方法・読図のポイント・現在位置の確認などチョット見は、スッキリと問題なく終了したように感じていますが、正確に実施することの難しさをアラタメて味わった山行になったのかと思います。

今後とも読図に関しては精進していく必要があります。良いきっかけになれば幸いです。

2010/10/6 関記

戸沢でBBC 10月2日(土)

先日の例会終了後の懇親会でパーベキューでもやるかとの話が持ち上がり、それでは10月2日の源次郎尾根読図終了後戸沢の河原で行うことに決まった。酒の勢いでみんな手を挙げ参加者は14～15名だ。どうせやるならキャンプファイヤーをやり、テントで泊まろうということになった。5月のクリーンハイクの時に戸沢でキャンプファイヤーをとの話はいつもでていたが、雨で中止が続いていた。今回は天気も良さそうだ。当日源次郎尾根読図組は戸沢を朝出発。食材準備組は渋沢駅で昼過ぎ待ち合わせし、買い出しに。地元の野菜や肉、魚をたっぷり準備し、車で戸沢に向かった。戸沢林道は大雨の後でところどころに大きな溝ができており、走りずらかった。14時過ぎに戸沢についたが、まだ、読図組はおりてきていなかった。読図組がおりてきてから準備しようと、テントを張って、竈を準備した後、のんびり待った。今日は車が沢さん入っており、登山組や、BBC組等戸沢も結構人気があるのだと思った。読図組がおりてきて準備にかかる。ガラさんや、関さんにキャンプ用に燃やす木材や炭を持ってきてもらっていたので、山から枯れ木を集める作業が省け大いに助かった。野菜や肉を鉄板で焼きながらビールで乾杯“お疲れさん”と。又、藤本さんのハーモニカで伴奏山の歌本を開き声高らかに歌い大いに盛り上がった。岩登り組、縦走組など普段会の中ですぐに行動しない人たちも集まり良かったです。

(みずなら山の会 小川)



生物多様性の恵みを大切に 登山文化の発展を

第15回全国登山者自然保護集会

●2010年11月27日(土) 午後1時より～28日(日) 12時まで

●プリヂストン奥多摩園 (東京都青梅市二俣尾1-264)
電話 0428-76-8231

主催＝日本勤労者山岳連盟 主管＝東京都勤労者山岳連盟 後援＝青梅市

豊かな山の自然を守り、自然と共生した持続可能な登山文化を守り、発展させていくことはハイカーや登山者の務めではないでしょうか。

自然が豊かであるからこそ登山を楽しむことができます。登山自然を守るために、ハイカーや登山者はどうすれ

ばいいのか、いっしょに考え、話し合うために第15回全国登山者自然保護集会を開催します。

全国の登山愛好者をはじめ、登山団体、自然保護団体、研究者や関心のある市民の方など、多数の方々に参加していただくことを心から期待しております。

■記念講演＝小川 潔 (東京学芸大学 教育学部准教授)

「生物多様性の保全と登山者の役割について」

※11月27日(土)午後です。

■2日目(28日)の午前中は、下記のような五つの分科会をおこないます。

- ◆生物多様性の宝庫である山の自然、巧みすぎに自然を傷つけない登山とは
——オーバーユースや携帯トイレ問題について考える——
- ◆登山の自然を大事にし、山の多様な楽しみ方を求める登山文化を
- ◆地球温暖化と気候変動、登山者はどうすれば、いかに低炭素登山について考える—
- ◆野生鳥獣と共生するための登山者の役割—高山帯に生息するニホンジカやサル、人里に群れるクマ、インシシシなどについて考える—
- ◆貴重な山の自然を破壊するヒトの経済活動や社会生活の問題について考える

- ◆資料代＝500円(夜の交流会参加者は別に1500円)
- ◆宿泊希望者は8000円(資料代、一泊二食付き・交流会費用含む)が必要です。
- ◆問合せ先＝東京都勤労者山岳連盟自然保護委員会

E-Mail info@twaf.jp TEL/FAX 03-3260-0372

宿泊希望者の申し込み締切期限は、11月13日(金)です。



クリーンハイク報告

日時 2010.10.3(日)

コース 不動尻コース(ヤビツ峠~大山~不動尻)

共催 神奈川県自然保護委員会 川崎ハイキング

参加者 29名。川崎ハイキング14 横浜ハイキング6 地平線3 相模AC1
緑星1 藤沢山の会1 柴笛1 雪童1 山の会おたる1

回収ゴミ 173.5kg(ガラス瓶134.8 缶その他38.7)

10月3日に行われたクリーンハイクは、29名の参加者で沢山のゴミを回収する事が出来ました。参加者の皆様お疲れ様でした。今回は5月のクリーンハイクで予定していた不動尻コースが悪天で中止になってしまいましたので、例年行っている川崎ハイキングとの共催で行いました。参加者を3の班に分けヤビツ峠を9時30分に出発し、大山山頂で、早めの昼食を摂り 不動尻下山途中にある989m地点のゴミを皆で拾いました。ここは大山山頂の電波塔を建てる為に作った飯場跡なので、鍋や、割れた瀬戸物の食器、一升瓶、缶等の生活用品が散乱して、30分もたたないうちにゴミ袋は、一杯になってしまいました。背負子持参の人は15~20kg位背負い ザック組みは15kg背負った男性や、臭い、汚いゴミの為、手で持っていた人達も重

さに耐えかね途中からは、ザックに括りつけ下山しました。14時25分(最後の班)には、不動尻下山口に無事に着きました。作業用の大型ゴミのウインチなどは来年頃に厚木市が回収する予定になりましたが、まだ沢山のゴミが残っています。飯場のゴミは登山者のゴミではないから行政が、やれば良いと言う声も、ありますが、この場所は、丹沢水源の森林地です。いつまでも放置しておく事はできません。行政に任せるだけでなく、共働参加型で、やっていく事が必要かと、思います。

心配していた天気は、風も無く穏やかで、恐れていたヤマビルも、葉の下に隠れたのが現れず絶好のクリーンハイク日和となりました。来年もよろしく
お願い致します。(大用)



赤岳(ハヶ岳)テント泊山行(ハイキングリーダー学校実技)

2010年10月2日(土)~3日(日)

参加人数:講師3名、受講者6名 計9名

ハヶ岳/赤岳は私にとって初めての山行です。テント泊の為テントを含めた用具と食料を含めると軽く10*はオーバーのリュックであることと天気予報は初日が晴れ時々曇り、2日目は晴れのち雨の予報でしたのでテント内での寒さ、濡れた岩場の山行が不安でした。

1日目は曇り時々晴れ、茅野駅から大型タクシー

で美濃戸口に到着、ストレッチをしていざ出発、美濃戸山荘迄は傾斜の少ない林道であるがリュックが肩に食い込み少々痛い。美濃戸山荘からは沢沿い岩場道で傾斜も増してきた。もののけ姫の舞台になったような苔で覆われた自然の美しい景色を見ながら、途中で夕食に一品加えようと食用きのこを教してもらいながらの登りで行者小屋に着いたのは15時35分、5時間の歩行で私を含め受講生はへとへとでした。

行者小屋の裏側のテント場に講師から指導してもらいながらのテントとツェルト（リュックを収納）の初めての作業でしたが予想したよりも早く設営できました。ツェルトをテントと同様に設営したのには感激しました。

待ちに待った夕食、まずはビール、ウーロン茶で乾杯、メインディッシュの**すき焼き煮**には途中で採取したきのこ（はなぐち、やなぎ茸）を加えた味は格別美味く、口に入れると身体の中にしみ込んでいきました。気温は例年に比べ高かったせいかテント内は比較的暖かく寒さを感じることもなく就寝でき、夜空は晴天で満天の星、天の川まで見え感激でした。翌日は天候不安定の為、当初予定の地蔵尾根コースから文三郎尾根ピストンに変更。

2日目天候は予想と異なり晴れ、4時過ぎに起床、準備後まだ暗い5時に出発、まもなく夜明けと共に阿弥陀岳がくっきり見え、当クルーの文三郎コースは下から見上げると50-60度の傾斜に見えます。近づくると鉄網製の階段で整備されているものの直登の急斜面、バランスに気を付けての登りとなりました。

赤岳と中岳の分岐に着いて赤岳を見るとそそり立つ屏風のように不安がよぎります。鎖場が数箇所ある岩山を三点確保しながら慎重に登り、やっと、赤岳に登頂しました。先程まで晴れていた頂上なので25分程待ちましたがガスに包まれ周りの景色は部分的にしかり見えません。360度のパノラマは次回に残しました。下りは三点確保、小歩行でバランスをとり浮石に気をつけながら慎重に下り、行者小屋へ戻り、テント収納後美濃戸山荘、美濃戸口に出てタクシーで茅野駅に到着しました。

今回の山行は今迄の実技を含めた受講の集大成であったと感じます。テント泊の用具、食料で重量のあるリュックでの長時間のきつい山行でした。その中で講師の皆さんから歩行方法、時間の設定、食事の手配、テントとツェルトの設営、更にはきのこの見分け方法までご指導頂き誠に有り難うございました。また、勇壮な赤岳の登頂と満天の星を久しぶりに見ることができて大変感激しています。

横浜ハイキングクラブ 内田和夫



関東ブロック役員交流集会に参加して

県連事務局部員 西川憲男

9月25(土)~26(日) 山梨県清里のペンション「赤れんが」で行われました。常任理事の方々の都合でピンチヒッター参加しました。関東ブロックは、山梨を含めた1都7県で構成されています。今回は全国理事も含め20名参加しました。神奈川から後藤真一理事長が日帰り参加、情報交換会が行われました。

主管の山梨県の菊地事務局長が司会で、2時前に開催されました。東京・神奈川・埼玉・茨城・千葉・栃木・群馬・山梨、そして全国から2日間に亘り活動報告が有りました。

東京からは6名が参加。初めに事故報告が有りました。現在「特別事故調査委員会」で調査中との事です。

都連の事務局長からの報告で気になったのは、昔ながらの山岳誌の募集は殆ど無意味になっている。

「ランドネ」と言う雑誌ご存知ですか、「山ガール」のバイブルです。女性のファッション誌のコー

ナーに有り、中身は前半がファッションで、後半に山の紹介が出ている雑誌です。一度ご覧になっては？

神奈川は、後藤真一理事長からリーダー学校沢登り（源次郎沢）実技での事故について報告が有りました。又事務局長会議について西川が報告しました。

埼玉の副理事長から、「心拍数管理実験登山」について報告が有りました。初めの30分はゆっくり歩く事が大切である。体のウォーミングアップが必要である。結果として早く歩けるとの事です。

千葉では、個人会員制を積極的に勧めていく方向の様です。

栃木県は、殆どがハイキングの会で、アルパインの会員拡大に努力している。

翌日、全国から新メディア戦略について話が有りました。

マナステ（情報メールマガジン）と、

コーポレットキャスト（労山版ユーチューブ）

4月から全国化するので、各地方連盟は準備して

ください。関東ブロックの中で東京・千葉・神奈川・埼玉と石川の5つが、特別実証区です。メーリングリストを連盟を通して全国連盟のメディア局の方に送って戴ければ、メール配信登録をした方を対象にお送りします。月に2度送ります。

例えばテレメーター雨量計のデータを見る事が出来ます。丹沢湖と塔が岳のデータが有れば丹沢全体

の雨量を知る事が、行く前にわかります。

夕食後、各県の理事が持参してくれたアルコールを戴いて酒宴の会があり、少し飲み過ぎて翌日の早朝散策はパスしました。

2日間、時間厳守でびっしりと会議が行われ、12時ジャストに終了しました。

13時48分開会



22時59分酒宴終了



八ヶ岳牧場 早朝散策 菊地氏撮影

平和であってこそその実現できる登山

2010.9.10 中山 建生

9月の常任理事会で理事会討議の議案の内容について久々の議論になった事柄です。皆さんに配布される資料では一部表題が改められます。8頁の「常任理事会・平和運動」の項として、「核兵器の廃絶の取り組みの一環としての、国民平和大行進に参加した」という記述についてです。全国連盟は平和行進に、運動を支えるスポーツ団体の一つとして参加をしていること、平和な世界を維持すること、戦争を起こさせないことで登山を実現できること、これは勤労者山岳連盟の5つの柱に新たに加えられ、全国的な取り組みとなっていること、とりわけ兵庫、大阪、京都の会員たちの取り組みは知られていること、そして広島や長崎の被爆を体験した人達との連帯した行動であることなどを話しました。神奈川でも全国理事をしていた望月さんは東京から広島まで通し行進を実行しました(当時藤沢山の会会員)。神奈川県は沖縄につぐ基地県で、厚木、瀬谷、横須賀、相模原には米軍の基地があり、騒音や犯罪、都市の再開発の障害にと市民生活に大きな負担と、戦争への不安を拭えないのです。かつて横須賀の原子力潜水艦の配備と寄港への反対運動、厚木基地騒音被害の訴訟、身近な所では東神奈川の米軍のミルクプラントの返還運動など会員はさまざまな形で関わりました。今ミルクプラントの跡地には保育所が建てられています。一般には東京を起点にした平和行進の労山旗を広島、長崎につなぐ中で、被爆者の体験を聞き、主婦や組合の人達の運動を知り、スポーツ団体の人達と連携を深めることです。労山の旗は平和を求めるもの、核兵器廃絶を求めるもの、女性委員会の3種類があります。女性委員会の活動は幅広く、女性の社会参加や登山への参加を確保するために保育所設置運動や子育て支援(男性の協力と参加)、職場復帰、仕事と育児などを経て今日に至っています。

この平和運動の呼び掛け人の一人であったA氏は結婚により登山を続けられなくなった女性の調査を行い、子育てで登山を止める人達の現状を調べて報告と提言をしました。また海外登山に取り組んだ岐阜の会員たちは現地の子供たちに教育器材を送ったり、現地での親睦交流をしました。当時の海外登山のあり方に一石を投じました。かつて、中国やインド、パキスタンでは国内紛争や戦乱が続き、登山の中止や立入り禁止の措置が取られ、紛争や戦争は登山者等の要求を拒むだけでなく、その国民の命をも奪う。今でもアフガン、イラク、東南アジア地区では戦火や紛争が続いている。登山者も戦争と貧困を世界からなくそうとして活動する人達と連帯するのは人間として当然のことと思う。山岳団体は登山を実現する、山岳会活動を豊かにする。自らの要求に誠実に立ち向かう人達です。私たちは平和運動を行なう団体ではない。が、常に社会の出来事に関心を持ち、なんらかの形でこれに加わりたいと思う。私は保育所設置運動、学童保育所の拡充、教育や地域活動への参加、山岳事故の訴訟支援、賃金の不当差別反対、基地撤去運動など、山登りとともに関わった。そして今は登山者への安全教育活動に力を注いでいる。神奈川の30周年記念誌5頁に私は「登山は平和であってこそ実現できるものとして、日本の戦争体験や海外の紛争の経験からも平和を希求した。(労山を創設した人達は)当時の登山者の意識、山岳会の運営、登山の実際は政治や経済や文化と関わり、こうしたことへの理解を必要とする」と記述したのです。神奈川の平和行進についての取り組みは近年大きく後退しました。その理由は自分の登山には関心はあっても社会的な活動には関心が薄く、積極的な関わりを持たないからです。事の是非と問題の本質がどこにあり、登山活動に、山岳会活動に歪みや弱点をもたらしてはいないかを皆さんが考え、思い当れば解決に力を注ぐことを願います。

規約を改正した理由 「啓蒙」から「啓発」へ

2010.10.1 中山 建生

規約の構成、表記の仕方、用語の適否など気付いたことを、この8月末の臨時理事会、そして9月の定期理事会で改正手続きに入ることを報告しました。

今回取り上げるのは規約4条(活動)の「山岳自然環境の保全と啓発活動を行なう」とした案です。改正の理由は近時、啓蒙という言葉を使わず「啓発」を使うというものです。

ではその意味の違いはどこにあるのでしょうか。啓蒙には「知識の暗い人に正しい知識を与えること」、「民衆を偏見から抜け出させ、自由に合理的に考えさせること」とあります。啓蒙の後に思想を付ければ啓蒙思想となり、18世紀のヨーロッパに普及した思想となります。では啓発は「知識をひらき、導くこと」という意味で使われます。

啓発という言葉は能力の開発や精神的に不安定な人達、悩みをもつ人達を明るく元気にさせるという意味で盛んに使われた経緯があります。言葉は時代とともに変化するので拘らなくてもという人達もいます。今時使われないというのには次の言葉の意味より、響きの印象が高見からものを言うことを嫌うというのでしょうか。「啓蒙する」にその匂いを感じているのだと思います。もっとも「啓発する」も「大衆を啓発する」という例文があり、その違いはどこにと疑問をもつ人もいるかもしれませんが、用語の変更を提案しました。

さて自然保護活動をする上でも言葉は重要な意味を持ちます。「環境に優しい開発」という言葉もその一つです。登山では「自然に優しい登山」という言葉で、ストックの利用の仕方が提起されました。私は紛らわしいと思いました。前者の言葉は1990年以降のスキー場やゴルフ場の開発が問題とされ、樹林の大規模な伐採が環境破壊を促進すると警告した頃、開発を前提とした口当たりのいい言葉が盛んに使われました。彼らは持続可能な開発とも言いまし

たが、樹林を伐採した後に何が残されたでしょうか。土砂崩れや洪水など被害を拡大しています。スキー場を閉鎖する場合には「自然の復元」を義務付けられましたが、これが不可能だとすぐに分かりました。樹木を植えなおしての緑化ではないのです。復元に関するものは「ワシントン条約」、日本では「絶滅のおそれがある野生動植物の種の保存に関する法律」が成立し、1992年にブラジルで「生物多様性条約」が採択されましたが、世界各地で復元の難しさを体験しています。

今日連日のように生物多様性が報道されています。人間と自然との共存あるいは共生という言葉をよく耳にするとおもいます。共存と共生とは意味が異なりますが、最近では共生という言葉がよく使われます。例えばサル、シカ、イノシシ、リスなどの食害に農業生産者は我々と共存などありえないと言います。共生とは異種の生物が一緒に生活して、互いに生理的な結びつきを意味し、単に同じ場所に住むだけの共存とは異なります。つまり、共生には相互の関係では(1)中立、(2)相害、(3)相利、(4)片利、(5)片害、(6)掠奪などに意味が分けられます。

では登山者と山との関係はなににあたるのでしょうか。登山者の行動から、登る、下る、幕営などにより植物を踏み付ける、表土を崩す、土に圧を加えるなどは自然に害を与えるとなるのでしょうか。そこで登山者と自然との共存あるいは共生と議論が展開します。民族間の紛争などで「お互いの利害を越えて共存、共栄をはかる」と同じような使い方なのでしょう。生物学的な定義とは異なります。共存、あるいは共生などと言わなくても自然に害を与えたのだから登山者は登山道の修復や環境を守るために行動すべきとしていいでしょう。これを期に私たちの活動で使われる言葉の意味を考えてみましょう。9月の登山とハイキングに関しては事務局長会議のまとめとして報告します。その他、意見をお寄せください。

西城州の紅葉を楽しむ群馬県民ハイク2010 in 南牧村

-新日本スポーツ連盟スポーツ祭典として労山群馬県連盟と実施する-

【日時】2010年11月7日(日)午前7時集合

【集合場所】群馬県甘楽郡南牧村「農業者トレーニングセンター」

【登山コース】3レベル(家族・一般・経験者)11コース

(A)家族向き(3コース):大屋山・小沢岳・滝めぐり

(B)一般向き(2コース):四ツ叉山・ひとぼし山

(C)経験者(6コース):鹿岳・烏帽子岳・三ツ岩岳・立岩・荒船山

家族向き(3コースと一般向き(2コース)がお勧め。

【費用】参加費:大人1000円、高校生以下500円(当日受付集金)

(参加記念品、保険料、登山口までのバス送迎代)

【申込締切日】11月3日(水)

【問合せ】日本勤労者山岳連盟・担当 石川友好

TEL:03-3260-6331 Fax:03-3235-4324 Mail:jwaf@jwaf.jp

(ナマステより)

10月常任理事会への報告と議題の討議

2010.10.4報告者 中山 建生

定例の10月常任理事会は以下のように開催しましたので報告します。10月4日午後7時20分より9時15分、県連盟事務所にて。出席理事は後藤真一、田村和寿、池上準子、三上茂、蝦名正次、海輪利昭、増田徹、大用ユキ子、西川憲男、中山建生

本日の報告事項と討議事項を確認して担当理事から報告、質疑を経て会議を終了しました。

9月事務局長会議の報告担当 中山

(9月予定報告は 1) 2)としました)

- 1 緊急時の連絡と内容 資料配布
- 2 コンロのトラブル 互換性はない
実際には使えるが) 資料配布

連盟ニュース10月編集

巻頭言は 1)前記ハイキングとは質開に添えて
中山

規約改正について10月の事務局長会議のテーマ未提出原稿の確認と編集方針について常任理事会で内容確認のうえニュースに掲載する。

財政 11月現勢で全国連盟費の割り当て金額が確定 2010年度より会員の氏名確認のうえ名簿提出、財政担当者(理事)に現勢報告を求める旨を理事会で確認。関連事項として会員名簿の作成

(新規取り組み)のための準備を会員に予告する。ハイキング委員会 リーダー養成学校 赤岳テント泊実習山行 2日から3日 3時無事下山の連絡あり、中山は了承した旨を返信。講師3名、生徒6名 長野県八ヶ岳

討議事項は9月からの講師スタッフの研修 理事の意見交換 8月31日資料配に基づく、講師の資質や教育内容、生徒の到達評価など。活動報告

1) クリーンハイク不動尻 報告大用・参加者9会29名、回収されたゴミ173.5kg 活動場所が飯場跡のため生活ゴミが主。

2 鷹取山 観光協会との整備作業の報告、増田。全国遭難対策会議 東京、田村参加 事故発生が続く中で登山者教育の重要性を確認、とくに指導者のレベル(指導員制度)と生徒の到達評価を適切に行なうとした。着手時期や具体的な取り組みについては後日。

関東ブロック交流集会 山梨県連盟、清里にて。参加後藤、西川から報告。神奈川からは理事会報告文書を用意。各地方連盟から活動報告あり。全国ナマステ情報、アクセス手続きなどは事務局長会議で報告する。神奈川は実証区のひとつで積極的な関わりを求められる。

雪崩 講習会などの取り組みでブロックに事前に相談する事無く決められることに不満の声があった旨を報告。

県連盟救助隊の会議、海輪報告 連盟規定の説明、セルフレスキューの取り組み開始。

教育部 三つ峠訓練終了 後藤報告。

今後の活動予定 ファーストエイド 藤沢会場ほか連盟ニュースを参照のこと。

討議された事項はハイキング委員会の講師スタッフの研修に関する件。連盟ニュースの役割、原稿採用の考え方、クリーンハイクの責任主体(協賛などの意味)を明確にする。

提案意見として、規約規定の討議を進める委員会の立ち上げを、10月事務局長会議、出席理事の説明などで進行情況を確認のうえ対応を決める。

2010年度丹沢クリーンハイク実施報告作成、配布
以上

9月27日自然保護委員会議事録

出席者 大用(川崎HC)、渡辺(相模AC)、高橋・萩原(藤沢山の会)、関根・伊藤(YHC)
三上(横浜こぶし)、吉崎(芝笛)、大日向(AC横浜)

議題 全国自然保護集会への申し込みについて

11月27日・28日に行なわれませんが、宿泊・日帰り等参加希望の方は、高橋さん(藤沢山の会)の方へご連絡ください。

11月20日・21日自然観察会及び懇親会

予定 20日 本厚木7;00~7;30集合 車にて出発
天城山登山の後、修善寺(渡辺宅)宿泊

21日 函南の原生林散策

来年のクリーンハイクについて

2011年1月よりクリーンハイク実行委員会開始

1月・2月の自然保護委員会及びCH実行委員会の日程変更

1月24日(1回目)

2月21日(2回目)

不動尻クリーンハイクの最終確認及び参加者へのパンダナ・軍手・ゴミ袋の持ち帰り。
以上

第32期上期(前) 2010年度・定期理事会議事録

日時：2010年9月12日(日)13時～17時

場所：帆船日本丸「タワー塔B」

横浜市西区みなとみらい2-1-1

出席理事：後藤 田村 池上 三上 蛭名 浅原
山崎 海輪 小野 加藤 小林 当山 大用 磯
部 高橋 (委任代理)西川 (敬称略)

[議長団選出]

議長(加藤正敏) 副議長(小林悦治)

書記(大用ユキ子)

資格審査・選挙管理委員会(当山利雄 高橋勇三)

[資格審査] 24名中16名出席 過半数を満たしているため理事会は成立しています。

[理事長挨拶]

8/31の臨時理事会で討議した規約規定改正は、総会の承認が必要です。3月の理事会を総会と位置づけ代議員も出席し、正式に改正したいと思います。3月の臨時総会までに可決できるよう、各会で話し合ってください。

世界的な気候変動は、登山者もその危機に直面し神奈川の沢登り事故、翌月の東京労山の奥秩父の沢登り事故死が起こり、全国で調査委員会が発足され、調査中です解明までには時間がかかるが、再発防止につとめている。今までの経験だけでなく、色々な情報を得てから山行をして欲しい。

上期(前)専門部活動報告、事故報告、規約規定改正等活発な意見を出しあい、実りある理事会としたいと思いますのでよろしくお願いします。

[2010年度上期活動報告・予定(計画)]

各専門部活動報告、内容は、議案書2ページ～8ページ(半P)まで掲載・参照。

7月11日リーダー学校沢登り(初級)下降中の事故報告についての説明。(後藤理事長)

源次郎沢転落事故報告書(最終版)詳細参照。

会計報告(海老名)

収支報告書参照。3月に2つの会が、脱会し収入が若干下った。県連事務所のプリンター及びソフト購入で予算オーバー(2万円)した。11月は例年資金的に厳しいので、各部は1月の決算までの見直しを見ながら予算を立て下さい。

[規約規定改正報告]

後半で採決をとります。(加藤議長)

[個人会員制について(田村副理事)]

2月の全国総会で提案された「個人会員制度」なぜ必要か。すでに進めている県もあるが、神奈川で

は、どう、考え、進めていくか、提案します。(個人会員制度討議のための参考資料)

詳細は、全国組織者担当者会議1ページ～8ページ参照。

[その他]

県連役員の窮状の訴えと、役員、各職の補充について。(後藤理事長)

事務局長については、理事に事務局長就任のお願いをしたが辞退され未だ、不在のままの状態である。事務局長1名、会計1～2名、組織部担当者1名、会計監査1名が未だ欠員のままである、立候補や各会からの推薦等により欠員の補充を行いたい協力をお願いしたい。

新スポーツ連盟には現在磯部理事が常任理事で参加しているがもう1名は補充したい。

月1回の常任理事会に出席している。新スポーツ連盟は反核マラソンやスポーツ大会を実施している。スポーツを通して平和を訴え、あらゆるスポーツ団体が、入っているのは、友好的で労山も交流しています。どなたか一緒にやっていただければと思います(磯部)

[討議]

規約規定集は、正式には1ページは表紙からが始まる。(三上)

組織がらみから、理事が定数、選出されていない会は、早急に決めて欲しい(海輪)

2ヶ月前、川崎労山より選出したいが、役割など具体的に知りたいと話があつたので、メールしたがその後、連絡無し 現実にどこの会の理事が不足してるか、もう一度紙面に書く。(後藤理事長)

捜索救助要請規定14条の第1次要請隊員とは誰の事か前に質問されたが、隊長1名、副隊長5名の事で、今年度は、隊長(海輪)副隊長(熊谷、森下、入木田、湊、町田)のメンバーです。(海輪)

10章、県連費の金額は現状では、県連費270円、全国130円、新スポ100円です(海老名)

個人会員制の問題を真剣に取り組んで欲しい。どのようなメリットがあり、デメリットがあるか、ぜひ話し合ってください。会員を増やすだけが目的ではなく、未組織登山者が山に入るノウハウを示唆する役割がある。個人の場合、会の組織活動に参加するのは、面倒で保険だけあればいいと言って会を脱会して個人に入っていき事も考えられ会としてのリスクもある。労山基金は、山行管理ありきになっているが、一般者の山行計画書など山行管理は、どうするか、受け入れたが県連で、出来るのが現実的には無理なので、オミットするか、しかし、そのままにしておくと、5年後には労山会員は1万5千人が減る可能性があり、年代も現在60代が多く会も高齢化して10年後には、加速的に減り1万人位にな

る。連盟としても活動を活発にする為には、個人会員制度を、まったく反対する事も出来ない。それぞれの会でメリット、デメリットをよく話し合っただけでいい。(後藤理事長)

個人的な感想だが、個人会員制度を、議論している全国の事を、会に持ち帰って議論する意味が感じられない。今は全国が、かってにやってもらうのがよいのでは、都岳連のような保険制度ができたのは、解るが。(浅原)

20年前半に勤労者山岳会を立ち上げた。この内容が抜けているのでは、真面目に働きながら山に行くという自分達の要求をどう実現させたか、当時は山に行く事は遊びに行くと思われていたが、自分達の健康のためにもそして権利として山に行くことを訴えた。労山の主旨を理解し自分達はどのような立場でやっているのかをつかんでいないと解らないのでは、ないか。自分が受けた教育は後輩に伝授していくのが労山の基本。自分達の会を育てる為に自分だけではというのではなく基本となるものを、各会でお互いに勉強していく必要がある。(小林副議長)

組織拡大についてはその会にいる事が楽しいという会でないと思ふ。YHCは会員を60名に切っているのは、その位の数だと顔も解かり悩みも含み人生も楽しむ。そういう会になっていれば、ただ会員を増やせばいいのではなく結果として拡大になる。ただ、個人制度になると、山行計画だけ出せばよいという事は会を止めて個人会員になる事も有り、組織が、壊れてしまうのではないか(西川)

個人制度が、適応されるとどう、影響がどうか資料の6ページ~7ページに載っている。当初は全国から始め、その後地方に移行する組織の制度と個人の制度の違いなどまだ、不明な点が多いが、全国の考えているイメージはそういう事です。(田村副理事)

これを、読んで見る限りメリットは、ほとんど感じられない。今自分達の会に年間10名前後が入会しているし、個人が地方に移行した場合もメリットは感じられない。保険制度の適応を受けられる事は良いと思うが、6ページ~7ページを、読む限りは個人会員とは、あまりにも我々の活動とはかけ離れている(浅原)

地方に移行するというのは、どういう形であるのか、居住地であるのか、組織は全国が持っていて、それを取込んでいくのは地方連盟の勝手でのよいのか(磯部)

まだ具体的になっていないが、ベースになるのはその人の居住場所になると思う(後藤理事長)

交流もはかって在住場所に入ると思うが、まだ充分説明されていない。全国の会議でも時間切れで終わってしまうし、地方連盟も制度が移行された時にどうするのかの考え方はあまい。(田村副理事)

救助隊の要請は、ないということだが、未組織登山者は事故が多いのでは。その結果遭対基金の破綻を招くのではないか、教育を強めていかないと。

(磯部)

教育を、ブロックか、地方連盟か、県がそれぞれ、山のノウハウを、しっかり教えてからで、個人会員制度の玄関口はまずしっかり教育をする事が必要だ(後藤理事)

早急に取り組む事はするだろうが、各会や各県の状況を見ながらすぐ押し付けてくる事は、できないのではないかと、時間はかかると思う(加藤議長)

すでに個人を県連が受け入れている所もある。都岳連は別の保険会社を立ち上げゼロ基金を作ったが、今後も継続できるか怪しいと言われている。労山が都岳連のような保険を独自で作ったら莫大な費用がかかり難しい。一般の人にも保険を適応する為には労山のみなし法人では厳しいと言われている。

保険は民間の保険で率が良いものもあるが、労山はそれをしのいでいる。これはメリットだと思う。基金のメリットを皆はよく知っていないのではないのでは。(後藤理事長)

[採決・まとめ]

3月の定期理事会は、規約規定改正がありますので総会とします

反対0 保留0 賛成16名(満場一致)

まとめ

規約改正についての各会の意見は年内にまとめて常任理事に出して欲しい。

個人会員制については2月に全国評議会が行われ導入、検討されるので11月中に出して欲しい。個人的な考え方だけでなく労山として全体的に考えて欲しい。

採決後に出た質問

Q 個人会員制の資料は今日の紙ベースだけか?

(浅原)

A 同じものがメールで送ってある。それ以外はない。(田村副理事)

Q 委任状は規約改正に入っていないが、現状では、理事以外の人が持って来ないと委任状は成り立たないが、急に理事以外の人が、代理で出てきてもすぐには、なかなか発言できるものではないし、代理人を頼むのも難しい。まず、成立する事が大事。一般的な方法の議長一任にして欲しい。(西川)

Q 確認です 救助要請はまず理事長、副理事長、事務局長、会長の順にするということになっているが。(西川)

A とりあえず急の事なのでSOSの第一報は救助隊にしてからでも良い。県連の責任の所在が必要になるので 救助隊が出動するまでに出せば良い。

(後藤 田村 海輪)

Q 救助隊に来てもらうか、どうしたらよいか相談の時に、この4人をお願いをすると考えてよいか。

(西川)

A はい(後藤 田村 海輪)

事務局からの連絡事項

規約規定集は各会10名に1部の割りで、渡すようにしてあります。

閉会

以上

規約改正の提案と民主主義について

12010.10.15 中山 建

生

登山とハイキングの定義、意味の違いはどこにあるのか、これが名称の問題にとどまらず、会の在り方や会員の意識に反映し、教育や安全など具体的な活動が問われるからです。山岳会として会員が集まり組耗的な活動をするなら、会と会員は社会的な責任を負うからです。もちろん、県連盟も同じように責任を問われます。

登山者と平和の問題、神奈川県連盟が求めた呼び掛けの精神、全国連盟の提案など、私たちが自らの問題として考え自分の意志を示し、決断しなくてはなりません。これらの問題は皆さんの登山活動に、山岳会活動に密接につながるからです。

さて県連盟の呼び掛け、規約、規定の改正の提案です。これに賛成するも反対するも皆さんが自由で公正な態度で望んでほしいからです。連盟の理事会が提案したから、これに無条件で従うという必要はありません。なぜなら、連盟の規約は皆さんのためにあるからです。ここを間違えないでください。規約は連盟が権力を乱用するのを防ぐ、総会で決められた方針に基づく活動を執行部が誠実に行なうためにあるのです。過去、連盟が恣意的に権力を行使した例はいくつもあります。逆に総会で決められたことを実行しないということもありました。皆さんも会則に基づいて活動をしますが、これは一定のルールのもとで規律が維持されなければ收拾が付かないし、組織としての成立を失うからです。よく規約や規定に縛られている、約束事が多いのは迷惑だという人もいます。こうした意見があるのを承知していますが、会の中でどこに問題があるのか議論をしてみましょう。

県連盟の規約には皆さんの権利が数多く示されています。義務は連盟費の支払いが代表的ですが、これは皆さんが連盟に託した活動をするための資金です。県連盟の理事や役員はたくさんの義務を負っています。例えば理事長は執行の責任者で常任理事会の活動を掌握しなくてはなりません。事務局はニュースの発行や会議の

準備、伝達、連盟費の徴収などきめ細かい活動をしています。

県連盟の理事は総会で選出されますが、いずれも無償のボランティア活動です。他のスポーツ団体も多かれ少なかれボランティア活動家で成り立っています。今日、皆さんに提起するのはこうした県連盟の活動に私たちは先頭にたって取り組みをしますが、皆さんもこれに加わる責任を負っていることです。私が県連盟の理事長を退任したのには理由がありました。いつまで私に責任を押しつけたまま連盟の活動に意見をださず、加わりもしない会員に腹を立てたからです。もちろん、それだけが理由ではなく若い人達が率先して活動に加わり、新しい県連盟を作り出してほしいと強く願ったからです。この気持は今でも変わりません。

県連盟の将来、そして労山の存在価値、皆さんの要求、それぞれに見つめるといいと思います。

内容を吟味し、意見を交わして、なお自分の考えが変わらないのでしたら妥協する必要はありません。納得できなければだれも前には進めないからです。良い横会だと思えます。

今までの未解決の問題を含めて自らの意志を示すときです。少数意見であれ、連盟の提案に批判をする内容であれ、あなたが考えて主張した意見であれば尊重されます。今、私たちを囲む内外の人達から山岳会の在り方、運営の方法、日常的な活動、会員のモラル、社会的な責任について問われています。これに対して意見を言わない。内に籠もる。社会性を欠いた行為をするなど見当違いな振る舞いが目立ちます。このような態度は民主主義とは無縁で、わがままいっぱいの小心者といわれてしまいます。まずは県連盟が提案した規約規定に関しての意見をお知らせください。



9月 事務局長会議 議事録

2010年9月14日(火) 7:20開始、

司会：池上事務局長

出席者：小林(川崎HC)・砂原(柴笛)・内藤(AC横浜)
・丸尾(横浜HC)・南雲(こぶし)・中河原(藤沢) 蝦名
(相模AC)・末吉(みずなら)・横田(雪童)・栗田(や
ま+)・青柳(山ブキ)・小島(おると)
理事等：中山(会長)・蝦名(財政)・三上(機関誌)・
池上(事務局次長)・西川(事務局部員/記録)

【 】県連からの連絡事項(連盟ニュース9月号参照)

9 / 1 2 に実施した定期理事会の資料「規約規定集」を、各会10名に1冊の割合でご持参下さい。
先日の大雨で「西丹沢」が荒れているとの連絡が、後藤理事長から有りましたのでご注意ください。

「西丹沢自然教室、倉持武彦です。いつもお世話になっております。西丹沢は中川をはさんで西側に影響が大きかったです。畦が丸への登山道はひどいことになっており、西丹沢自然教室では登山自粛をお願いしています。その他の登山道は、増水が引けばなんとかかなりそうです。でもしばらくは、土砂災害の心配が続きます。」

カレンダーの注文を受けています。100部注文して有ります。事務局部員 西川までメールで申し込んで下さい。11月の事務局長会議の時にはお渡し出来ると思います。ご協力願います。

10 / 1 7 (日)ファーストエイド講習会、奮って参加して下さい。千円は安いと思います。

10 / 3 (日)丹沢クリーンハイク・不動尻コース(連盟ニュース9月号4頁参照)の参加者が少ないので、呼び掛け宜しくお願い致します。

【2】各会からの報告(怪我・トラブル等報告)

川崎HC はっきりした報告は出来ませんが、8月に剣岳で落石に遭い負傷したと言う連絡が有りました。

山ブキの会 連盟ニュース8月号で報告しました、青梅線軍畑駅ホームから転落して怪我をした方の件について報告します。その時はすぐ来た電車には乗らず、20～30分ほどホームの外で休みました。電車が来るのでホームに入り線路際から2m程内側でそれぞれ軽いストレッチなどをしながらのんびり電車を待っていたのですが、突然アーと言って跳ねるようにして線路に落ちました。そのまま動かなかったので線路に飛び降り確認しましたが意識は有りませんでした。ホームの高さは1.20m位有りました。電車が来るまで3分位でしたがホームに居た男性方が手助けしてくれホームに上げてくれました。意識が戻ったのは救急車の中だった様です。出血がかなり有りました。

どうして落ちたか本人も判らないそうです。警察

からは誰かが突き飛ばしたのではないかと聴かれたそうです。計画書があったので警察や救急隊に色々聞かれた時に役にたちました。

現在も治療中ですが、会の集まりに顔を出してくれる程に成りました。

【3】その他

「源次郎沢転落事故報告書」(7/11発生)が出来ましたのでご覧になって下さい。

ナーゲルの中島さん追悼山行の報告が「連盟ニュース」6頁に、掲載されていますのでご覧下さい。次号(10月)は「みずなら」、11月は「藤沢山の会」、12月は「山ブキの会」にお願いします。

「改正・廃止に関する意見について」の用紙を配布します。先程お配りした資料「規約規定集」を読んでお答え下さい。会の意見として12月14日(火)の事務局長会議迄に提出して下さい。メールの場合には、西川に送って下さい。

<質問> 「登山とハイキング」の定義について教えて下さい。

後日、中山氏にまとめて貰いましたので、連盟ニュース<登山・ハイキングの意味・・・>をご覧下さい。

「県連役員の窮状の訴えと、役員、各職の補充について」と言う資料をご覧下さい。

事務局長がいないので、私達は今慣れないままにやっています。質問されても答えられないので、どうしても必要と考えています。各会で理事等を経験された方に県連に出てきて欲しいと願って居ます。どなたか推薦をしてください。

会計は今蝦名さんがやっていますが、以前の反省から2人体制を確立したいと考えていますので、各会で経理の仕事をされている方(又は銀行に勤務)がいましたら是非推薦して下さい。

会計監査も1人欠員です。経験があまり無くても可能かと思しますので、推薦をお願い致します。

<特集> 【搜索救助要請&ガスコンロの取り扱い注意】 中山 建生(会長)

搜索救助要請について

資料「遭難事故に関する救助要請書」(みずなら山の会)をご覧下さい。これは、私が計画書の裏に刷り込んでありますが、実際にこれを使った事は有りません。警察・消防・病院で必ず確認を受ける事項を入れて有ります。いきなり県連盟に要請と言う訳では有りません。一報は会(留守本部)に入れますが、現場で急ぐと言う場合には、現地で所轄の警察に要請します。電話は全て携帯を使います。

「勤務先」の欄は、以前仕事先の連絡が遅れて会社の上司から叱られた事が有りましたので入れて有ります。会社によってですが、ホンダは自前でヘリを持っていますので、救助の時は自前で出すと聞いています。ホンダのジェットヘリが穂高に救助に

来た事があるそうです。警察より早く。

「既往症」は薬の問題があります。手術をする時に、組合せで使えない薬があると困るので、判れば知りたい。

「要請内容」で、ヘリは保留になって居ますが、食料や装備（燃料・無線機等）を落としてくれと言う場合があります。この計画書の場合、事故場所から涸沢までの搬送ですが、1名をおろすのに10名が必要です。パーティーで経験・体力が無いメンバーは戦力外ですので、必要人数を要請する事に成ります。

メンバーの状態について警察から聞かれる事があります。特にヘリを要請する場合、事故者以外に余力が無く動けないメンバーがいた場合には、最初から事故者1名、その他2名と、含めた人数を要請して下さい。基本的には自力下山ですので、安易に要請しないで下さい。

<質問> 県連理事連絡先について、上から順に連絡して下さいとありますが、全員にするんですか。

最初に連絡の取れた方だけでOKです。その方

の指示に従って下さい。

<質問> この用紙はどこで使うんですか。

手落ちが無い様にしたいと考えていますので、現地でも留守本部でも使うと良いと思います。

救助要請は2段階で行います。自力でどの程度できるかを確認。会に一報した時、救助要請（現地警察・県連）をするかどうかの手順は、会で決めておいて下さい。多分16時以降のヘリ要請は、実際に飛ぶのは翌日になると思います。

この用紙を各会で使って戴いて結構です。

ガスコンロの取り扱い、転倒、火傷、燃料漏れについて

資料「ガスコンロの取り扱い、転倒……」（遭難事故に関する救助要請書の裏）をご覧ください。

欠陥品のコンロを持って来ました。これが何故欠陥品かわかりますか。……

中山氏にまとめて貰いましたので、資料<ガスコンロの取り扱い、転倒、……>をご覧ください。有り難うございました。これで終わりにします。

ガスコンロの取り扱い、転倒、火傷、燃料漏れ

2010.9.16中山 建生

前月の事務局部会で最近ガスコンロの取り扱いの話をしました。狭い場所での衣類への燃焼、炊事中の転倒、そして火傷、器具の取り扱いの不注意によるガス漏れなど、今年の夏に、種池山荘の小屋の前で炊事の用意をしていた登山者が熱くなったガスコンロを落としていたのを見ました。久しくテント山行をしなかったので山小屋の人たちからガスコンロの使い方を知らない登山者がいるとの話になりました。私はよく意味が分からず、どんなことが質問をしました。

それはガスの調整ノズルの開閉を確認していない。例えば、ノブが短いため熱くてそのままにしておき、次にボンベの付けるときこれを忘れている。テント泊で締め切ったままコンロを使い酸欠になった。炊事の支度中に鍋を押さえていなかったため転倒させたなどでした。今日ここに持参したのはガスのバーナーは開閉の設計がまずいため、実際に使う場合にはノブを右に半回し加えてからボンベにつけないとガス漏れする欠陥商品です。収納するときは半回しないと納まらないため不都合が生じます。これを忘れるとボンベを付けるときにガスが吹き出して引火する危険があります。ガスの調整ノズルが短いものは燃焼により熱くなり、回すのが難しくなるものがあります。

神奈川でのテント類焼事故、火傷など会員に伝わっ

ていないようでした。

現在市販されている各メーカーのバーナーは接合部分とボンベの組合せは自社製品に限るとして、他社のボンベを使用することを禁止しています。これには理由があります。接合部のピン、Oリングの違いによりガス漏れの恐れがあるからです。肝心な接合部分はゴムやプラスチックではありません。ここは年数の経過により劣化したり、なんらかの薬品が着いたとき腐食するために、接合部の密着には金属性のリングが使われています。これが同じではないのです。

自分のガスコンロは使えても他人のものは使えないというのでは緊急時や他者と行動する時不都合を生じます。機会を見てどの製品でも扱えるようにしておきましょう。山で使う道具や用具は共通性がありますが、特殊なものは別にしてもだれもが使えるようにしておきましょう。



神奈川県勤労者山岳連盟各会の活動報告と予定

川崎勤労者山岳会

報告：小池秀子 計42名(男27 女15) 平均 歳

8/31-9/1 槍ヶ岳(1+1)	石(1)	9/11-12 甲斐駒ヶ岳坊主	9/22-23 南日高・野塚岳
9/4-5 湯槍首川本谷沢(4)	9/10-12 北岳パットレス	岩川崎山ルート(2)	(1+7)
9/4-5 雲取山(6+2)	(1+2)	9/17-20 甲斐駒ヶ岳坊主	9/24-25 大雪山系・旭岳
9/4-5 三つ峠(2+1)	9/11 奥多摩・川乗谷沢	岩川崎山ルート(6)	~黒岳(1)
9/10-11 北八ヶ岳・高見	(1+7)	9/18-19 日光白根山(5)	9/25 鹿児島・開聞岳(1)

川崎ハイキングクラブ

報告：川上勝夫 計100名(男50 女50) 平均62歳

8/21-23 乗鞍岳/北アルプス(4)	9/3-6 白峰三山/南アルプス(6)	10/16-17 畦ヶ丸/西丹沢
8/22 金峰山/奥秩父(2)	9/5 二十六夜山/中央線沿線(16)	10/20 川苔山/奥多摩
8/21-25 槍ヶ岳/北アルプス(7)	9/10 富士山/富士山(2)	10/23-24 八ヶ岳/長野
8/25-27 上高地/北アルプス(3)	9/11-12 仙丈ヶ岳/南アルプス(5)	10/24 陣馬山/中央線沿線
8/26-28 剣岳/北アルプス(8)	9/11-12 浅間山/軽井沢(5)	10/31 三窪高原/大菩薩
8/27 笹間ヶ岳・矢筈ヶ岳/湖南アルプス(1)	9/12 駒ヶ岳・神山/箱根(3)	11/7 百蔵山/中央線沿線
8/28-29 大洞山/大菩薩(3)	9/12 吾妻山/福島	11/14 高山/群馬
8/29 三窪高原/大菩薩(7)	10/3 大山/丹沢	11/20 三国山/中央線沿線
8/29 石割山/富士五湖(11)	10/8-11 白山/北陸	11/28 金剛山
		12/12 蘇我丘陵/松田

川崎柴笛クラブ

報告：砂原浩二 計39名(男23 女16) 平均48歳

9/4-7 剣岳(1)	9/12 御前山(1)	(4)	10/3 大山 クリソウ
9/10-13 鹿島槍 五竜岳(1)	9/19-20 鳳凰三山(2)	9/26 御前山(3+1)	10/6-7 甲斐駒ヶ岳(2)
9/4-5 安達太良山沢登り(5)	9/18-19 小川山(5+1)	9/26 金時山(1+5)	10/2-3 三つ峠 リーダー学校
9/4 一ノ倉沢(2)	9/17 湯河原幕岩(1+3)	9/26 三頭山(8+1)	10/9-11 赤湯(4)
9/4-5 小同心クラック(3)	9/19 笹尾根(1+1)	9/23-25 白神岳(2)	10/10-11 三頭山(2+1)
9/5 谷川岳(1)	9/19 越沢パットレス(3)	10/1 黒岳(1)	10/9-11 槍ヶ岳(1+2)
9/18-20 荒沢岳(1)	9/19 大倉尾根(1)	10/2-3 女峰山(1)	
9/12 三つ峠(11)	9/23-25 白馬三山(2)	10/2 谷川岳(4)	
	9/23-25 奥鬼怒山(1+1)	10/2-3 小川山(1+2)	
	9/25-26 北岳パットレス	10/2 日向山(1+1)	

事故や怪我の報告

9月26日三頭山へハイキングに行く途中にメンバー 1人の両足がツリ、鶴峠へ下山して救急車で病院へ行きました。病院の診断は強いコムラガエリとの事で、その後は自力で帰宅しました。

アルパインクラブ横浜

報告 = 岸 直哉 計38名(男23 : 女15) 平均 歳

9/2-5 穂高岳~槍ヶ岳~常念岳(1)	9/5-7 尾瀬・燧ヶ岳-至仏山(1)	9/14 白毛門沢(2)	9/19-20 斑尾山・黒姫山・戸隠山・飯縄山【信越五岳トレイルランニングレース・110km】(1)
9/4 編笠山~ピラタス(1)	9/10 塔の岳(1)	9/18-19 万太郎本谷(2)	
9/4 編笠山~麦草峠(1)	9/11-12 ナルミズ沢(3)	9/18-20 立山・剣岳北方稜線(2)	
9/4-6 黄蓮谷右俣(1+2)	9/12 広沢寺(1+1)	9/18-20 小川山(2+9)	9/20 小川山(3)
9/4-6 燕岳~槍ヶ岳(1+1)	9/12 甲府幕岩(1+2)	9/19 甲府幕岩(3)	9/21 湯川(2)
9/5 越沢パットレス(2)	9/12 上野原(トレラン)	9/19 小川山(3)	9/23 広沢寺(1+7)
9/5 塔の岳(2)	(1)	9/19-20 谷川岳(1)	9/26 小川山(1+1)

横浜ハイキングクラブ

報告 = 丸尾真知子 計57名(男23 : 女34) 平均62歳

8/19 室内例会(45)	旅(2)	川山(4)	9/9 室内例会(42)	9/23 室内クイミング(県7)
8/8-10 槍ヶ岳(5)	8/1-3 八幡平・秋田	赤岳(1)、浜石岳(2)、	9/4 明神ヶ岳(13)	8/29-9/1 蓮華岳~針の木岳(7)
8/13-14 北岳(3)	田駒ヶ岳(5)	八海山~中ノ岳(3)、	9/5 芦ノ湖西岸(9)	9/4 西穂高岳(2)
8/22 飯盛山(5)	8/2 姫神山(6)	木曾駒ヶ岳(2)、三	9/12 箱根・丸岳(12)	9/4 奥多摩/越沢パットレス(2)
8/8 丹沢・葛葉沢(県13)	8/4 鳴虫山(2)	ツ峠(3)、槍ヶ岳(2)、	9/1 大倉・三廻部：読図(4)	9/12 表丹沢/鷹取山(下見)(4)
8/20-22 奥秩父・笛吹川水系(県22)	8/6-10 荒川三山・明石岳(1)	志賀山・四十八池めぐり(5)、燕岳~	9/26 巾着田~日和田山(17)	次ページへつづく
7/31-8/8 四国遍路	8/7 金時山(2)	常念岳~蝶ヶ岳(1)、	以上会山行	
	8/6-8 奥秩父・小	三つ峠(2)		

9/18 阿弥陀岳(1)	着田(下見)(2)	9/25-26 苗場山(5)	草津・白根山	10/29-11/1 屋久島
9/18-21 八甲田山・岩木山(2)	9/19 三ノ塔-塔ノ岳(3)	9/26 庚申山(2)&東丹沢・広沢寺(5)	10/17 扇山 百蔵山	以上会山行
9/19 東天狗岳～西天狗岳(1)	9/21-22 宝剣岳～三ノ沢岳(2)	10/14 室内例会	10/24 丹沢表尾根 縦走	
9/19 日和田山～巾	9/23 鍋割山(1)	10/3箱根・三国山	10/30-31 増富～大日小屋～金峰山	

横浜こぶしの会

報告=南雲哲男 計26名(男18人 女8人) 平均55歳

9/2-3 甲斐駒ヶ岳(1+1)	1)	10/1-2 苗場山(1+)	10/30 筑波山
9/4 葛葉川(5)	9/18-19 平標山(2)	10/8-11 朝日連峰-中止	11/3 岩トレ
9/11 源次郎沢(4)	9/25-26 こぶし祭り(丹沢)(18)	10/9-11 越後三山	
9/11-12 鳳凰三山-中止		10/11 大山三峰	
9/17-19 鳥海山・月山(1+)	10/2 乾徳山(1)	10/23-24 上信越	

藤沢山の会

報告=中河原昭夫 計92名(男44:女48) 平均64歳

9/1 運営委員会	9/15 入会説明会(1)	カトニガ法(50)	10/12 機関誌「稜線」印刷
9/2 八ヶ岳・蓼科山(2)	9/16-20 丹沢・丹沢縦走(3名、30周年記念)	9/23 丹沢・鍋割山(3)	10/13 室内例会
9/3-4 富士山(1)	9/18-20丹沢縦走(4名・30周年記念)	9/23 大菩薩・滝子山浜立尾根(2)	10/16 富士周辺・高川山(会ハク)
9/4 丹沢・マサ嵐(3,他)	9/19-20 丹沢縦走(7名・30周年記念)	9/24-26 北陸・白山(5)	10/16-17 三ツ峠(教育部 岩実践)
9/4-5 八ヶ岳・八ヶ岳山麓(9)	9/20 丹沢縦走(8名・30周年記念)	9/25 道志・高畑山(7・会ハク)	10/23 講習会・セウリスユ-
9/8 室内例会、講座・観天望気(27)	9/21-22 箱根・湯坂道(4)	9/26 広沢寺岩トレ(4)	10/24 高尾・景信山(会ハク)
9/11 丹沢・鍋割山(14・会ハイク)	9/22 入会説明会(1)	10/1-2 北ア・御嶽山(14)	10/27 室内例会
9/11-12 南ア・甲斐駒ヶ岳(9・テント泊実技)	9/22 室内例会、講座・体	10/3 富士周辺・三ツ峠岩トレ(2)	10/30 クリハイク「大野山」
		10/6 運営委員会	

相模アルパインクラブ

報告:水村和也 計35名(男23:女12) 平均53歳

8/20-22 釜ノ沢東 俣(4)	(1)	9/5 高水三山(1)	9/18-19 鷲冠谷・鎌尾根(1)
8/21-22 大洞川・荒沢谷(3)	8/28-29 白峰三山(1)	9/9 大山(1)	右俣～ナメラ沢 下降(3)
8/20-22 大日岳(1)	8/29 鍋割山(2)	9/11 大岳山(2)	9/18-20 小川山(1)
8/21-23 穂高屏風 岩・雲稜ルート(2)	8/26-31 岩木山 白神岳(1)	9/12 上野原 御前山-高柄山-牛平山(1)	9/18-20 白馬三山-不帰嶮-唐松岳(2)
8/28 西丹沢・中川 悪沢(3)	9/4-5 小川山(1)	9/12 塔ノ岳(1)	9/18-20 小川山(2)
8/28 源次郎沢(3)	9/4-5 小川山(2)	9/11-12 小川山(2)	9/17-20 烏帽子岳-船窪岳-七倉岳-蓮華岳(1)
8/25-29 一ノ倉沢	9/3-5 鈴鹿・御在所岳(1)	9/11-13 小川山(1)	9/17-20 槍ヶ岳 北
		9/18-19 小川山(2)	
		9/17-19 小川山(2)	

みずなら山の会

報告:末吉悦子 計36名(男25 女11) 平均59歳

9/8 例会	9/18 苗場山(1)	9/23-25 朝日連峰(1+1)	(不動尻)(2)
9/11 焼山～蛭ヶ岳～塔ノ岳(1)	9/18-19 苗場山～大赤沢(1)	9/25-26 錫杖岳(1+2)	10/3 塔ノ岳(1)
9/11 丹沢表尾根(1)	9/18-19 地獄谷本谷-キレット小屋-カネ(3+2)	9/26 高麗の巾着田(4)	10/5 運営委員会
9/11-12 北岳パットレス bガリー取付(1+2)	9/18 谷川一ノ倉沢中央 稜(2)	10/2-3 吾妻連峰(1+1)	10/9-11 針ノ木-七倉(4)
9/13-15 甲斐駒黒戸尾根～仙丈ヶ岳(1+1)	9/18 谷川一ノ倉沢烏帽子岩南稜(4)	10/2-3 三ツ峠・リーダー学校(1+11)	10/9-12 八方-唐松-五竜-鹿島槍-扇沢(3+1)
9/17-19 扇沢～爺ヶ岳～針ノ木(1)	9/19 上州武尊山(4)	10/2 苗場山(1)	10/11 谷川一ノ倉沢(1+1)
9/18 塔ノ岳(1)	9/19-20 小川山(1+3)	10/2 読図(花立～源次郎尾根)(11)	10/11-12 鳳凰三山(1+1)
9/18 丹沢山(1)	9/23-25 折立-雲の平(1)	10/2 親睦会(丹沢・パーベキュー)(11)	10/13 例会
		10/3 クリーンハイク	10/16-17 末丈ヶ岳
			10/23 ハイク・縦走救助 訓練

他会に通知したい事項: 10月1名退会、10月1名移籍入会

カモの会

報告: 森谷 準一 計66名 (男48:女18) 平均36.2歳

9/2 南アルプス 南部 (1)	9/11 北アルプス 五色ヶ原 (1)	9/18 ヌク沢左保 (1+2)	テ (1+2)
9/4 白毛門沢 (1+2)	9/11 広沢寺 丸ヶ丘 (2)	9/18 北アルプス 針ノ木岳 (1)	9/19 磐梯山 (4)
9/4 宝剣岳~空木岳 (1)	9/11 越沢パットレス (2)	9/18 前川大滝沢 (4)	9/21 美ヶ原 霧ヶ峰 (1+2)
9/4 モミソ沢 (2+1)	9/12 西丹沢/双嶺沢 (3)	9/18 白峰三山 (北岳~)	9/24 東沢乗越近辺 (1+1)
9/4 奥穂高~西穂高 (2)	9/12 日和田山の岩場 (6)	9/18 間ノ岳~農鳥岳 (1)	9/25 丹沢・モミソ岩・レスキュー訓練 (19)
9/4 北岳パットレス (1+2)	9/18 ハヶ岳 (1)	9/18 北岳ヘッド以 (1+2)	9/26 日向山 (2)
9/4 谷川/幽ノ沢右俣V字状岩壁右ルート (2)	9/18 加ガリ・小川山 (1+3)	9/18 北アルプス/槍ヶ岳・北鎌尾根 (3)	
9/5 谷川/一ノ倉沢烏帽子沢奥壁南稜 (2)	9/18 北アルプス 燕岳~大天井岳・槍ヶ岳 (1)	9/19 稲子岳南壁左カン	

やま++

報告: 栗田 彰 計15名 (男11:女4) 平均51歳

9/4-6 劔岳、奥大日岳 (3)	9/22 例会 (11)	10/16-17 戸隠山
9/8 例会 (10)	10/2-3 甲斐駒 (黒戸)	10/23-24 十石山マイナー
9/18-19 やま++祭 (13+6)	10/11 丹沢主脈縦走	
9/18-19 権現岳マイナー (11+4)	10/13 勉強会	

山岳素行重人メーグリ家

報告: 尾形 忠 計9名 (男5:女4) 平均50歳

9/1 笛吹川支流ヌク沢左保 奥秩父 沢登り (2)	9/5 鷹取山 房総・三浦 キャンプ等、その他 (1+10)	9/18 セツ石山 奥多摩・高尾 ハイキング (1+1)
9/3 湯河原幕岩 箱根・湯河原 フリークライミング (1+1)	9/10-13 小樽 赤岩 道南 フリークライミング (1+1)	9/18-19 小川山 甲信越 フリークライミング (1)
9/3-4 水無川本谷 丹沢 沢登り (1+3)	9/10 布川水系 ヤゲン沢 丹沢 沢登り (1)	9/19 越沢パットレス 奥多摩・高尾 アルパイン (1+1)
9/4-6 甲斐駒ヶ岳 黄蓮谷右股 甲斐駒・北岳 沢登り (1+3)	9/11 御坂/三ツ峠 富士・御坂 アルパインクライミング (1+5)	9/19-20 笛吹川東沢支流東のナメ沢 奥秩父 沢登り (2)
9/4-5 烏川本谷・常念沢 槍・穂高・乗鞍 沢登り (1+3)	9/11 源次郎沢 丹沢 沢登り (1+1)	9/19 水無川水系 沖ノ源次郎沢~源次郎尾根 丹沢 沢登り (1)
9/4 柴崎ロック 奥武蔵 フリークライミング (1+1)	9/11-12 小川山 甲信越 フリークライミング (1)	9/19-25 秋田駒ヶ岳~八幡平 八幡平・岩手山・秋田駒 ピークハント/縦走 (1)
9/4 中川川水系 棚沢~カクレ小屋沢右岸尾根 丹沢 沢登り (1)	9/12 甲府幕岩 ハヶ岳・蓼科 フリークライミング (1+1)	9/25-26 錫杖岳/見張り塔からずっと他 槍・穂高・乗鞍 アルパイン (1+1)
9/4-5 南アルプス/北岳パットレス 第四尾根主稜 甲斐駒・北岳 アルパイン (1+3)	9/17 モミソ岩 (レスキューシステム検証) 丹沢 講習/トレーニング (1)	9/25-26 烏帽子岩南稜 谷川・武尊 アルパイン (2)
9/5 東日原 ヨコスズ尾根 ハナド岩 奥多摩・高尾 沢登り (1)	9/17-19 地獄谷本谷 ハヶ岳・蓼科 沢登り (1+3)	9/26 大黒茂谷 奥秩父 沢登り (1+1)
9/5 水無川支流金冷シ沢 丹沢 沢登り (1)	9/18-20 小川山 ハヶ岳・蓼科 フリークライミング (1+2)	



登山時報 10月号 目次

西北ネパール 辺疆に魅せられて 大西 保 03

特集 いま、なぜ個人会員制なのか? 未組織登山者への役割 齊藤義孝 今後の課題 花村哲也 福岡県連の実験 大塚三紀夫 13

トムラウシ山の遭難事故を考える 地元の北海道でシンポジウム 松浦孝之 19 どうすべきか.....可憐で貴重な高山植物を守るために 浦添嘉徳 22

穂高集中 会員の絆を深めた 35周年記念山行 花折忍 24

連載 クイズ 地図読み迷人 村越真 宮内佐季子 08

野鳥との出会い モズ 小枝琢三 福井壽彦 10

シグナル 暑く、熱い日本の8月..... 齊藤義孝 12

山で気になるカンキョーの話 菊地敏之 18

連載 碧い南の島だより 雨宮節 27

JWAFクリック 28 全国連盟の活動 31

専門委員会活動報告 32

インタビュー ひと 恵彦秀さん 井芹昌二 33

編集後記 34

地元会員特選ミニガイド 群馬・山急山/矢崎辰雄 36

新潟・丹後山/磯部剛

ブックエンド 『北海道の旅』他 保本龍一 他 38

会報えつらん室 花村哲也 40

オススメ山道具 コンパクトザック 笹原芳樹 42

県連のスケジュール

10月		11月		12月	
1	金	1	月 常任理事会	1	水 登山リーダ養成学校机上講習
2	土	2	火	2	木
3	日	3	水	3	金
4	月	4	木	4	土
5	火	5	金	5	日
6	水	6	土	6	月
7	木	7	日	7	火
8	金	8	月	8	水
9	土	9	火	9	木
10	日	10	水	10	金
11	月	11	木	11	土
12	火	12	金	12	日
13	水	13	土	13	月
14	木	14	日	14	火
15	金	15	月	15	水
16	土	16	火	16	木
17	日	17	水	17	金
18	月	18	木	18	土
19	火	19	金	19	日
20	水	20	土	20	月
21	木	21	日	21	火
22	金	22	月	22	水
23	土	23	火	23	木
24	日	24	水	24	金
25	月	25	木	25	土
26	火	26	金	26	日
27	水	27	土	27	月
28	木	28	日	28	火
29	金	29	月	29	水
30	土	30	火	30	木
31	日			31	金

2010年度の全国的な規模の集会・会議予定

野辺山・救急救護講習のお誘い
群馬県民ハイク2010 in 南牧村
第14回雪崩安全セミナー
第12回全国海外登山集会
第15回全国登山者自然保護集会
関東ブロック雪崩講習

10月30日(土)～11月02日(火) 3泊4日
11月07日(日)
11月07日(日)日本雪氷学会雪崩分科会(定員になる)
11月27日(土) 連盟事務所1階会議室
11月27日(土)～28日(日)東京都勤労者山岳連盟
2011年01月15日(土)～01月16日(日)